

空は青々

校長室だより 令和7年3月8日 NO. 37 校長 高橋 理香

感動の卒業式 ～最高の3年生でした!～

令和7年3月8日、大好きな子どもたちが、岩出山中学校を巣立っていきました。

すばらしい卒業式でした。子どもたち一人一人の、これまでの成長が感じられる感動の式でした。

保護者や地域の皆様には、これまで子どもたちを温かく見守り、支えていただきました。これまでのご支援やご協力に感謝いたします。ありがとうございました。今後も、岩出山中学校をさらによりよい学校にするために教職員共々ががんばってまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

式 辞

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

みなさん一人一人に手渡した卒業証書は、みなさんの三年間の努力の証です。ぜ

ひ、ご家族の方々と一緒に、そのがんばりを、その重みを、感じてほしいと思います。

さて、みなさんと過ごした学校生活には、たくさんの思い出があります。みなさんの学年には、いつも明るい雰囲気と一体感がありました。学習に臨む真剣なまなざし、夢や目標に向かうひたむきな姿、行事に対する、三年生らしいリーダーシップ。みなさんの姿

は、先輩としてのあるべき姿でした。また、みなさんの中には、部活動や校外の活動で、活躍した人が多くいました。

ボランティア活動に積極的に参加し、地域とのつながりを大切にする人や、私とすれ違うときに、大きな声で、気持ち

のよいあいさつができる人も、たくさんいました。そのどれもが、私たちの誇りであり、宝物でした。私たちはいつも、

みなさんから、元気と勇気もらっていました。ありがとう。



そんなみなさんに、私はこれまで、集会や行事の度に、スポーツ選手や著名人の言葉を用いて、多くのメッセージを伝えてきました。その中で一つでも、みなさんの心を動かしたものがあれば、うれしく思います。ではこれが、私からみなさんに贈る最後のメッセージです。これから生きていく中で、うまくいかなくなったときに、思い出してもらえれば、光栄です。

みなさんはあと三年で「成人」と呼ばれる歳になります。選挙権が与えられ、自分一人の責任で生活することもできます。世間はそれを「大人になった」とも言いますが、本当にそうでしょうか。私が考える「大人になるということ」。それは「何でも一人でできることではなく、困ったときに、周りの人に困っているとと言えるようになること」だと思えます。私もこれまでに、多くの人に助けてもらい、その上で、自分の考えを、よりよい方向に修正することができた経験が何度もあります。

みなさんのこれからの未来は、誰にも予測できません。新しいことには、不安がつきものです。でも、どんな社会にあっても、人は、一人で生きていくことはできません。これまでみなさんは、誰かのなにげない一言に、うれしくなったり、悲しくなったりすることを、十分経験してきたはずです。だからこそ、家族や友だちを大事にしてほしいし、優しい言葉を、口に出せる「大人」になってほしいと願っています。そして、うまくいかなくなったときには、だれかに頼ることも必要です。その時に、「ありがとう」と素直に言える、すてきな「大人」に成長することを、私は心から願っています。

卒業生のみなさん、いよいよお別れの時です。最後に、みなさんが歌う「正解」の歌詞から。

「答えがある 問いばかり 教わってきたよ だけど 明日からは あなただけの正解を 探しにゆくのです」

「制限時間も 解答用紙も 採点基準も あなたの これからの 人生です」。

みなさんの人生の「正解」は一つではありません。どうか、失敗をおそれず、何事にも挑戦する気持ちを大切にしてください。失敗から学ぶ「正解」の方が、ずっと価値のあるものになるかもしれません。

No Challenge, No Chance! みなさんの、これからのさらなる活躍を祈念し、式辞といたします。

令和七年三月八日

大崎市立岩出山中学校

校長 高橋 理香



